

保 険 局

Health Insurance Bureau

国民皆保険を守り、 日々の安心を次の世代へ

Our Mission 保険証1枚で、いつでも、誰でも、どこの医療機関でも必要な保険診療を受けられる国民皆保険。この世界に冠たる制度の持続可能性を高め、制度を充実し、日々の安心を次の世代に引き継いでいくため、様々な取組を進めています。

部局の所掌分野

被用者保険

「協会けんぽ」や「組合健保」等サラリーマンが加入する健康保険について、制度の企画立案等を行っています。



国民健康保険

自営業の方や農業を営む方等、被用者保険に入っていない方が加入する国民健康保険について、制度の企画立案等を行っています。

後期高齢者医療制度

75歳以上の高齢の方等を被保険者とする後期高齢者医療制度について、制度の企画立案等を行っています。

診療報酬／医薬品等の価格

保険医療機関や保険薬局が保険医療サービスの対価として受け取る診療報酬や、医薬品・医療機器等の価格に関する企画立案等を行っています。



データヘルス／医療費の適正化

医療のビッグデータの収集、分析に基づく予防・健康づくりの推進、医療費適正化のための施策等を推進しています。



医療介護連携

地域における医療と介護の総合的な確保を図るため、医療と介護の連携強化に関する施策等を推進しています。

政策紹介 1

医療保険制度の持続可能性を高め、 日々の安心を守る

国民全員が公的医療保険制度に加入する国民皆保険。日本は、この国民皆保険を通じて、世界最高レベルの平均寿命と保険医療水準を実現してきました。しかし近年、高齢化の進展等によって医療費が増大しており、医療保険制度の持続可能性を高めていくことが重要な課題となっています。

このため、平成27年には、国民皆保険の基礎とも言える国民健康保険について、平成30年度から都道府県が安定的な財政運営や効率的な事業の確保等に中心的な役割を担うこととする大改革を行いました。

また、世代間・世代内の負担の公平を図り、負担能力に応じた負担を求める観点から、給付と負担の見直しもを行っています。

こうした改革を通じて、世界に冠たる国民皆保険と日々の安心を守っています。



KEY WORD

薬価制度の抜本改革

近年、革新的かつ高額で市場規模が非常に大きな医薬品が登場しています。こうした医薬品は、重い病気に苦しむ人々の光となる一方、国民負担や医療保険財政に与える影響が懸念され、薬価制度の見直しの必要性が指摘されています。

このため、昨年末には「薬価制度の抜本改革に向けた基本方針」が決定されました。この方針に基づき、「国民皆保険の持続性」と「イノベーションの推進」を両立し、「国民負担の軽減」と「医療の質の向上」を実現する薬価制度の抜本改革に向け、検討を進めています。

政策紹介 2

診療報酬改定で、よりよい医療を目指す

診療報酬は、保険医療機関や保険薬局が保険医療サービスの対価として受け取る報酬です。医療行為ごとに点数が決まっており、1点の単価を10円として計算します。病院からもらった領収書に「初・再診料〇点」と書かれているのを見たことはありませんか？

診療報酬は、厚生労働大臣が中央社会保険医療協議会の議論を踏まえて2年に1度決定しますが、それは医療の方向性を決めるプロセスそのものです。

平成28年度の診療報酬改定では、地域包括ケアシステムと効果的・効率的で質の高い医療提供体制の構築に重点を置いて改定を行いました。

平成30年度は6年に一度の診療報酬と介護報酬の同時改定の年。「団塊の世代」がすべて75歳以上となる平成37年度を見据えてどのような医療のあり方を目指すのか、日々議論が進められています。



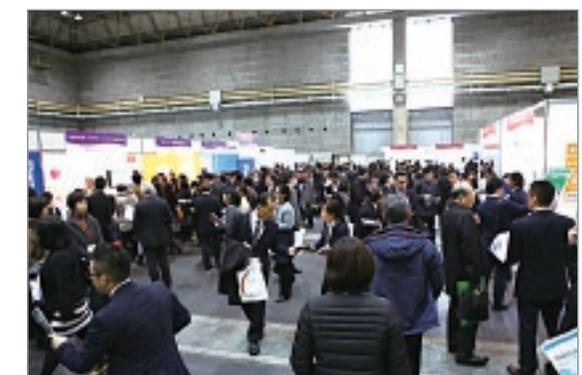
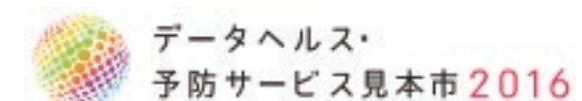
【注目を集める中央社会保険医療協議会】

政策紹介 3

予防・健康づくりを推進し、 医療費の適正化を図る

高齢化の進展等によって医療費が増大する中、医療保険制度の持続可能性を高めていくためには、いかに医療費の適正化を進めていくかが重要です。

こうした観点から、民間主導でも「日本健康会議」が発足し、健康寿命の延伸とともに医療費の適正化を図る取組が進められていますが、国は、行政と医療関係者が協力して糖尿病性腎症の重症化予防プログラムを策定し、全国に取組を普及させたり、各医療保険者や個人の自主的な予防・健康づくりの取組を促すためインセンティブ制度を充実したり、健康・予防サービスを提供する民間事業者と医療保険者等とが出会い、協働・連携を推進させる場として「データヘルス・予防サービス見本市」を開催する等、予防・健康づくりの取組を推進しています。



【多くの人で賑わう会場】

KEY WORD

データヘルス改革

レセプトや健診情報等、医療、介護に係るデータを収集・分析し、これを予防・健康づくり等につなげていく「データヘルス改革」。この改革を通じて、持続可能で質の高い医療サービスの効率的な提供や医療保険者の機能の強化を図っていくことにしています。

このため、医療・介護等のデータベースを連携させて医療・介護情報等のビッグデータ化を進めるとともに、データ利活用の基盤となるデータプラットフォームの構築に向け、検討を進めています。